

平成21年 4月30日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月30日】

団体名

武蔵野市立図書館朗読奉仕の会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

視覚障害者向け録音図書のリジタル化プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。'07年にリジタル録音システムの国際統一規格が定められ、この規格に合わせた録音図書製作とサービスが求められています。点字図書館は'06年にリジタル録音への移行にはテープ録音終了のこと、又機器及びテープの生産が減っている事を考慮しリジタル化を推進すべきと考えます。利用者との交流会でリジタル化を希望する人が増え、市で機器購入に補助がある事。プロジェクト立ち上げの環境が整ったと実行方針にしました。利用者へリジタル図書を提供し、知識、生活向上に役立ちます。素直に会員の喜びでもあります。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。'08年4月にプロジェクトを立ち上げ5月より活動開始。プロジェクトチーム及び図書館側と意見交換の結果、当面カセットテープとCDを併用して行く事にします。リジタル図書制作マニュアル、編集及び編集校正マニュアル等を作成し、テープの選定及び購入、設置。初級講座受講の新人及び会員と共に、リジタル化への研修と実習に入ります。毎回参加者10名、見学者は自由とし、持ち込みパソコンにソフトをインストールしパソコン不足を補います。全会員へのシステムの周知を計りCD図書を利用者へお貸しする体制を作ります。月1回の勉強会を続け既存のテープ図書のリジタル録音図書への移行を進める予定です。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

リジタル録音機器の打発、RAI=マニュアル等を勘案し、種々ある機器に取り組みます。当面パソコンに依る対応に絞り込んでみました。その結果音納者相互の意志統一がうまく計れました。図書館及び市役所障害福祉課の協力を得て、リジタル録音、テープ図書の利用者(視覚障害者)へのP.Rと、再生機器の説明会を実施し利用者へリジタル機器への関心と理解が深まりテープ図書からリジタル図書への変更希望者が増加しました。大変うれしいことです。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

リジタル録音図書作成のための要員の増加(現在10名を25名程度)のための勉強会を引き続き継続していかねばならないと考えています。更にリジタル録音作成、体制の向題点、機器の追加、マニュアルの作成等も多く、本プロジェクトを継続し上記勉強会の場を通して、解決を計って行きます。

6. 参考資料

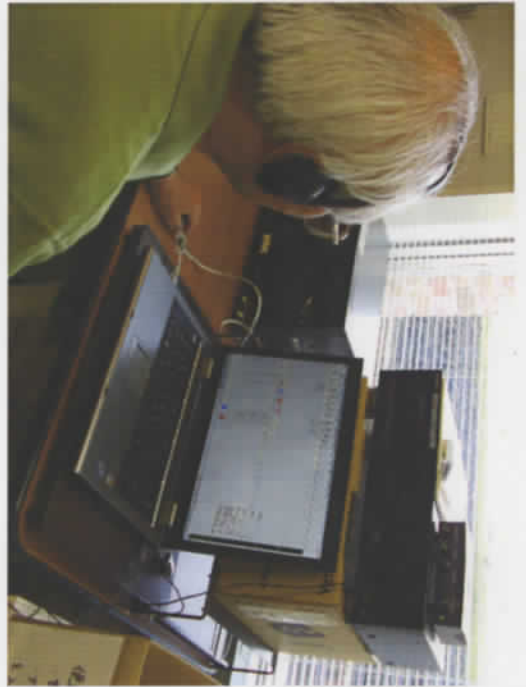
支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

プロジェクトチーム立ち上げ後の経過を会員へお報告すべく文書化してあります。お役にたつことがあれば幸に存じます。勉強中の写真と共にお送りいたします。



(1)



(3)



(2)



(4)



(5)

(1), (2), (4) ページ編集勉強会

(3) ボランティア室でのページ編集

(5) 自宅でのページ録音